

一週間のマーケットレポート - 2025年7月13日

目次

- 1.  エグゼクティブサマリー
- 2.  為替市場の動向
- 3. JP 日本経済
- 4. US 米国経済
- 5. CN 中国経済
- 6.  その他の地域
- 7.  来週の注目ポイント
- 8.  マーケット見通し

エグゼクティブサマリー

キーポイント

本週は、トランプ大統領の新たな関税政策によって市場が大きく動いた一週間であった。

- **関税拡大:** EU・メキシコ向け30%関税を8月1日から発動と発表
- 📉 **株式市場:** ダウ280ポイント下落、S&P500週間ベースで下落
- 💱 **円安継続:** ドル円147.38円で推移、円安圧力が継続
- 📈 **商品市場:** 金・銀が急伸、原油も+2.82%上昇

主要指標サマリー（2025年7月12日終値）

指標名	終値	前日比	変動率
ダウ平均	44,371.51	-279.13	-0.63%
S&P500	6,259.75	-20.71	-0.33%
ナスダック	20,585.53	-45.14	-0.22%
日経平均	39,569.68	-76.68	-0.19%
VIX指数	16.40	+0.62	+3.93%

為替市場の動向

主要通貨ペア表

通貨ペア	レート	前日比	変動率
USD/JPY	147.38	+1.14	+0.81%
EUR/USD	1.1692	-0.13	-0.11%
GBP/USD	1.3491	-0.88	-0.66%

ハイライト

今週の為替市場は、トランプ政権の関税政策により欧州通貨が軟調となった。ドル円は147円台まで上昇し、1週間で約1円の円安が進行した。ユーロドルは1.16台に下落し、関税発表後に売り圧力が強まった。

 **ポイント:** 関税政策は為替市場にも大きな影響を与えており、貿易相手国の通貨が軒並み下落している。

JP 日本経済

主要指標

- **日経平均:** 39,569.68円 (-0.19%)
- **TOPIX:** 2,755.24 (-0.15%)
- **長期金利:** 1.500% (+0.010%)

ハイライト

日本株式市場は、米関税政策への警戒感から小幅な調整局面となった。日経平均は39,500円台で週を終えたが、依然として高値圏を維持している。製造業を中心とした輸出関連銘柄には売り圧力が見られる一方、内需関連株は堅調な推移を示した。

円安進行により、一部の輸出企業にはプラス材料となっているが、原材料コスト上昇への懸念も浮上している。政府・日銀の動向が引き続き注目されている。

us 米国経済

主要指標

- **ダウ平均:** 44,371.51 (-0.63%)
- **S&P500:** 6,259.75 (-0.33%)
- **ナスダック:** 20,585.53 (-0.22%)
- **10年債利回り:** 4.4230% (+1.77%)

ハイライト

米国市場は、トランプ大統領の関税拡大政策により週後半に調整圧力が強まった。しかし、市場のボラティリティは低水準を維持しており、VIX指数は16.40と比較的安定している。

来週から本格化する決算シーズンを前に、投資家はテクノロジー企業の業績に注目している。金利上昇も重石となり、特に金利敏感セクターに売り圧力が見られた。

💡 **注目:** Fed関係者の発言では、関税の影響評価には時間が必要との見解が示されている。

CN 中国経済

主要指標

- **上海総合:** 2,975.25 (-0.45%)
- **深セン成分:** 9,845.67 (-0.78%)
- **人民元:** 7.2580 (対ドル)

ハイライト

中国市場は、米国の関税政策拡大により不安定な動きを見せている。しかし、EU向け関税発動により、相対的に中国への圧力は一時的に軽減される可能性がある。

今週発表予定の貿易統計では、輸出5.0%増、輸入1.3%増が予想されており、経済回復の継続が期待される。政府の景気刺激策効果も徐々に現れ始めている。

🌐 その他の地域

欧州

- **DAX指数:** 24,255.31 (-0.82%)
- **FTSE100:** 8,941.12 (-0.38%)
- **ユーロストックス600:** 下落

欧州市場は、トランプ大統領の30%関税発表により大きく下落した。ドイツ自動車メーカーのメルセデス・ベンツやポルシェなどは特に大きな打撃を受けている。

英国

英国経済は5月も収縮が続き、期待された回復は見られなかった。IPO市場も30年ぶりの低水準となり、金融センターとしての地位に懸念が高まっている。

スイス

スイスフランは安全資産として選好され、比較的堅調な推移を維持している。

📈 来週の注目ポイント

イベントカレンダー

日付	時刻	国/地域	イベント	重要度
7/14	23:00	NZ	電子カード小売売上高	★★
7/15	3:00	中国	貿易収支	★★★
7/15	5:30	日本	鉱工業生産	★★★
7/15	8:30	スイス	PPI	★★
7/15	8:30	インド	WPI物価指数	★★

重要イベント

- 1. 米国決算シーズン本格化: 主要テック企業の業績発表
- 2. 中国経済指標: 貿易統計の発表で輸出入動向を確認
- 3. 日本: 鉱工業生産で製造業の状況を把握
- 4. 地政学リスク: 米EU関税交渉の進展

🎯 マーケット見通し

短期見通し（1-2週間）

関税政策を巡る不確実性が市場のボラティリティを高める可能性がある。ただし、企業業績への期待は根強く、大幅な調整は限定的と予想される。

中期見通し（1-3ヶ月）

決算シーズンの結果次第で市場の方向性が決まる。テクノロジー企業の堅調な業績が期待される一方、関税の実体経済への影響が徐々に顕在化する可能性がある。

リスク要因

- 🔥 関税エスカレーション: 貿易戦争の更なる激化
- 🔥 金利上昇: 長期金利の急激な上昇
- 🔥 地政学的緊張: 国際関係の悪化

アドバイス

投資家は分散投資を心がけ、特定地域や業界への過度な集中を避けることが重要である。また、ボラティリティの高い局面では、長期的な視点を保持することが推奨される。

💡 **今週のポイント:** 関税政策により市場環境が大きく変化している。投資判断においては、短期的な市場の動きに惑わされず、ファンダメンタルズに基づいた分析が重要である。

⚠️ ディスクレーマー

本レポートは情報提供を目的としており、投資勧誘や投資アドバイスを目的としたものではありません。本レポートに記載されている情報は2025年7月13日時点のものであり、その正確性、完全性、または適時性を保証するものではありません。

本レポートの内容に基づいて行われる判断や行動、またはそれにより生じる結果について、当社は一切の責任を負いません。投資判断は投資家ご自身の責任において行ってください。過去の投資実績は将来の投資成果を保証するものではなく、投資には常にリスクが伴います。